

サステナブルファイナンス有識者会議 第二次報告書 -持続可能な新しい社会を切り拓く金融システム-

- 金融庁サステナブルファイナンス有識者会議は、昨年6月に報告書を公表し、「**企業開示の充実**」、「**市場機能の発揮**」、「**金融機関の投融資先支援とリスク管理**」などのサステナブルファイナンスの推進策について、提言。
- 今般、この1年の各施策の進捗状況のほか、国内外の動向等を踏まえた**更なる課題と提言を発信するため、有識者会議としての第2弾の報告書を公表。**

アセットオーナーに係る課題共有

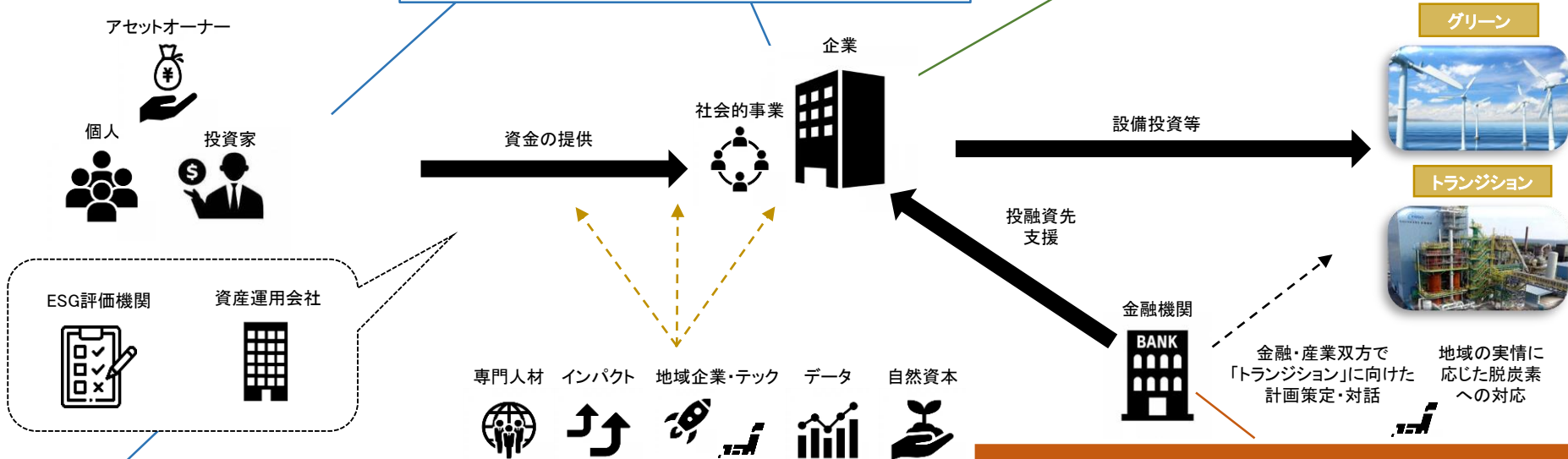
- 今後、機関投資家が持続可能性向上に向けた取組みに着目し、**受託資産の価値向上を図っていくための課題を把握・共有**

ESG投資に係る環境整備

- 日本取引所グループ(JPX)において、ESG投資情報を集約した「**情報プラットフォーム**」を7月に立ち上げ。今後は、**データの拡充など更なる機能拡充を検討**
- ソーシャルプロジェクトの社会的な効果に係る指標等の例を7月に公表

企業開示の充実

- **気候変動対応等に関するサステナビリティ開示の充実に向けた方策を6月に公表。**早急に制度整備を行う
- 今後は、IFRS財団における国際的な基準策定の動きに対し、**わが国の意見を集約・発信していく**



ESG評価機関・投資信託

- ESG評価機関の行動規範(案)を7月に公表。夏頃までに最終化し、遅くとも年度末までに、**受入れ状況を取りまとめ・公表**
- ESG投信に係るモニタリング結果を5月に公表。年度末を目途に監督指針を改正

横断的取組み

- 専門人材の育成にむけた方策(民間事業者等による資格試験の導入への支援等)を検討
- 脱炭素に関する中小企業・スタートアップの推進策を関係省庁と連携
- 関係省庁と連携し、政策の全体像やロードマップを適時に更新しつつ、**一体的に発信**

金融機関と企業の対話促進

- 金融機関向けの気候変動ガイダンスを7月に公表
- 今後、GXリーグ(※)とも連携し、**ネットゼロに向けた産業・企業の排出削減に係る経路の見える化を促進。**また、取引所における実証実験等を通じたクレジット取引のあり方に係る検討につき、関係省庁と連携
- また、地域金融機関等に対し、各地で、**中小企業が取り組みやすい脱炭素の対応**につき、関係省庁と連携して浸透を図り、課題を収集する

(※)GXリーグ:脱炭素に挑戦する企業が、カーボンプレジット市場の整備も視野に官・学・金と協働する場として、経産省が設立予定。3月末まで賛同企業を募集し、440社が賛同。

有識者会議として、今後も随時、サステナブルファイナンスの施策の全体像・進捗状況等をフォローアップ・取りまとめ、発信

サステナブルファイナンスの取組みの全体像(進捗と課題)

2022年1～6月(進捗)

7～12月(課題)

東証プライム市場上場企業に対して、TCFD又はそれと同等の国際的枠組みに基づく開示の質と量の充実

有価証券報告書におけるサステナビリティ開示の充実について、金融審議会ディスクロージャーWGにおいて取りまとめ(6月公表)

取りまとめを踏まえ早急に制度整備

国際会計基準(IFRS)財団におけるサステナビリティ開示の基準策定の動きに、SSBJを中心として、国内の意見集約・国際的な意見発信を行う

開示の充実

市場機能の発揮

アセット
オーナー

機関投資家が企業の持続可能性の向上に向けた取組みに着目し、受託資産の価値向上を図っていくための課題を把握・共有

ESG
投信

ESG投信の実態調査を実施

資産運用会社への
期待を公表(5月)

資産運用会社に適切な態勢構築や開示の充実等を一層求めていくため、本年度中の監督指針改正を検討

ESG
評価機関

有識者会議専門分科会で、評価機関等の行動規範案と、企業・投資家への提言を取りまとめ

ESG評価機関等の行動規範を夏頃までに最終化し賛同を呼びかけ

遅くとも年度末までに受入れ状況を取りまとめ・公表

情報プラット
フォーム

JPX検討会で中間
報告を公表(1月)

ESG債券等に関する情報プラットフォームを構築し、サービス提供を開始(7月立ち上げ)

今後の機能拡充などについて検討(企業のESGデータ集約、プラットフォームの利便性向上、対象金融商品の拡大等)

ソーシャル・
グリーンB

ソーシャルプロジェクトの社会的な効果を測定する指標集を公表

グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドラインの改訂

各ガイドラインを活用し、融資と合わせた発行の促進・周知

金融機関の
機能発揮

シナリオ分析のパイロットエクササイズの実施・公表

エクササイズで特定された課題について、金融機関と議論し、シナリオ分析の手法・枠組みの継続的な改善

金融機関向けの気候変動ガイダンスについて、4月に案を公表、7月に最終版を公表

金融機関との対話を通じ、気候変動対応の取組状況や課題を把握金融機関等による産業・企業との対話を支援

地域金融機関等に、地域で取り組みやすい脱炭素の施策を浸透、併せて、課題を収集

横断的施策

トランジション

分野別ロードマップ

ロードマップの対象分野の拡大、ロードマップの排出経路を定量化した計量モデルの策定等

カーボンクレジット検討会

GXリーグ構想の実現に向けた検討

インパクト

フェーズⅠ(基本的手法等)

インパクト投資検討会の「フェーズⅡ」として、資産種別に応じた投資手法のあり方について議論

中小・テック

脱炭素に関する中小企業・スタートアップの推進策を検討

データ

地域の金融機関・企業等にも有用なデータの活用方法等を検討

専門人材

専門人材の育成に向けた方策(民間事業者等への支援等)を検討

その他

自然資本・生物多様性について国際的議論も踏まえ検討

※ 関係省庁の施策や関係省庁と連携して進める施策についても記載。この他にも、各省・関係機関等で様々な取組みを実施。今後、関係省庁とも連携し、政府のサステナブルファイナンス政策の全体像やロードマップを適時に更新しつつ、一体的に発信。